2026年7月13-19日

127番の歌 私はどんな人になるべきだろうか

聖書の原則を使って良心を鍛えていく

「*人はそれぞれ，自分の荷を自分で負うのです*」。ガラテア 6:5

ポイント：きちんと働く良心を持つために，聖書の原則はどう役立つでしょうか。

1-2. （ア）アダムとエバにはどんな能力が与えられましたか。（イ）そのことに感謝していれば，2人はどうしたはずですか。

動物は本能に従って生きています。機械はプログラムされた通りに動きます。でも人間は違います。自分で考えて物事を決める能力を神から与えられています。それは本当に素晴らしいことです。聖書によると，最初の人間アダムは神に似たものとして造られました。（創 1:26，27 神は言った。「**私たちに似た者として人を造ろう**。そして人に，海の魚，空を飛ぶ生き物，家畜，地面を動くあらゆる生き物を治めさせ，地球を世話させよう」。 27 それから**神は人を自分に似た者，神に似た者として創造**した。**男性と女性を創造**した。）アダムにも妻のエバにも，自分で考えて物事を決める能力がありました。

2 エホバはアダムとエバをたくさんのルールで縛ったりはしませんでした。2人に命令したのはとてもシンプルなことでした。地球を管理すること，子供を生んで家族を大きくしていくこと，神が決めた制限を守ることでした。（創 1:28 神は2人を祝福し，こう言った。「**子を生み，増えて，地上全体に広がり，地球を管理**しなさい。また，海の魚，空を飛ぶ生き物，地上を動く**あらゆる生き物を治め**なさい」。; 2:16，17 エホバ神は人にこう命じた。「庭園の**全ての木の実を満足するまで食べてよい**。 17 しかし，**善悪の知識の木の実**は，**食べてはならない**。それを**食べた日に**あなたは**必ず死ぬ**からである」。）もし2人がエホバを愛していて，エホバに喜ばれたいと思い，もらっているものに対して感謝していたなら，こういうシンプルな命令に従ったはずです。自分で考えて，従うことを選べたはずです。（格 23:15 わが子よ，**あなたの心が賢くなったら**，私は**心から喜ぶ**。）

3. アダムとエバはエホバからもらった能力をどう使いましたか。

3 でも2人はそうはしませんでした。エホバに背く道を選びました。エホバを愛し，感謝するのではなく，自分たちのやりたいようにしました。（創 3:1-7 さて，エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かった(*利口だった)。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない，と神が言ったのは本当ですか」。 2 女は蛇に言った。「私たちは庭園の木の実を食べてよいのです。 3 でも，庭園の真ん中にある木の実について，神は，『食べてはならない。触れてもならない。食べたり触れたりするなら死ぬ』と言いました」。 4 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。 5 その木の実を食べた日に，目が開かれ，あなたたちが神のよ

うになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。 6 そこで**女がその木を見る**と，**おいしそうな実**が付いていて，**魅力的な美しい木**に見えた。それで**女はその木の実を取って食べ始めた。その後**，一緒にいた時に夫にも渡した。**夫もそれを食べ始めた**。 7 すると，2 人の目は開かれ，自分たちが**裸であることに気付いた**。それで，イチジクの葉をつなぎ合わせて腰を覆う物を作った。）そのせいで現代の私たちも苦しんでいます。（ロマ 5:12 このような訳で，1 人の人によって**人類に罪が入り，罪によって死が入り**，こうして，**全ての人が罪人になったために，死が全ての人に広がった**ように―。）

4.（ア）ガラテア 6 章 5 節からすると，クリスチャンにはどんな責任がありますか。（イ）エホバは正しい判断ができるようにどんなものを与えてくれましたか。

4 私たちは毎日いろんなことを決めないといけません。それはクリスチャン一人一人が負わなければいけない「荷」，つまり責任です。（ガラテア 6:5 人はそれぞれ，自分の荷を自分で負うのです。を読む。）簡単に決められることもあれば，複雑なこともあります。いつもエホバに喜んでもらえるような判断をするのはなかなか大変です。どうすれば正しく判断できるでしょうか。まず，**エホバに助けてもらうことがどうしても必要**だと意識することです。（格 16:3 行うことは**何でもエホバに委ねよ**(*あなたが行うことを**エホバに転がせ**)。そうすれば，**計画は成功**する。エレ 10:23 エホバ，私はよく知っています。**人は自分の道**(*生き方)**を定めることができません。自分で自分の歩みを導くことができない**のです。）完全な人イエスでさえ，そのことを忘れませんでした。（ヘブ 5:7 キリストは，地上で生きていた(d*肉体でいた)間，**自分を死から救える方**に**祈願を捧げ**，願い(*請願)を伝えました。大きな声で叫び，涙を流しながらそのようにし，**神への畏れゆえに聞き入れられ**ました。）完全ではない私たちはなおさらエホバに助けてもらわないといけません。エホバは私たちに賢い選択をしてほしいと思って，あるものを与えてくれました。良心です。

良心とは何か

5.（ア）良心とは何ですか。（イ）良心はどんな働きをしますか。（ローマ 2:14，15）

5 良心とは私たちの内面にある善悪の感覚のことです。エホバが決めたルールを知らない人も，良心を持っています。（コリ二 4:2 私たちは恥ずべき隠れた事柄を退けました。ずる賢く行動したり神の言葉をゆがめたりしません。真理を明らかにすることにより，神の前で，**全ての人の良心に自分を推薦**し(*にとって良い手本となり)ます。）良心は，自分の考えや行動について非難したり弁護したりして，それが良いか悪いかを教えてくれます。（ローマ 2:14，15 **律法を持たない異国の人々も**，律法にある事柄を生まれつき行えます。**律法を持っていませんが，自分自身が律法のよう**なものです。 15 彼らこそ，**律法の内容が心に書かれていることを証明**しています。彼らの良心が彼らと共に語り(*証言し)，彼らは自分の考えによって(d*の間で)非難されたり弁護されたりしているのです。を読む。）悪いと分かっていることをしようとすると警告します。（サム一 26:8-11 アビシャイはダビデに言った。「神は今日，あなたの敵をあなたの手に渡されました。それで今，どうか私に，彼をやりで地面に突き刺させてください。一度で仕留めます」。 9 ダビデはアビシャイに言った。「危害を加えてはいけません。エホバが選んだ(d*油を注いだ)人に手

を出しながら無罪でいられる人などいるでしょうか」。 10 ダビデは続けて言った。「エホバは生きています。**彼はエホバに必ず打たれ**ます。あるいは，**生涯の終わりが来て死ぬか，戦いで命を**落とすかします。 11 エホバが選んだ(d*油を注いだ)人に私が手を出すなど，エホバの観点からして考えられないことです！ さあ，**彼の頭のそばにあるやりと水差しを取って**きてください。それから立ち去りましょう」。）逆に，良いと分かっていることをするよう後押ししてくれることもあります。良心があるので，自分の判断がエホバに喜んでもらえる良いものかどうかが分かります。**きちんと働く良心**があって初めて，自分で考えて決める能力を正しく使うことができます。

6. 良心はどうなってしまうことがありますか。

6 でも厄介なことに，私たちは完璧ではないので，良心も完璧ではありません。生い立ちや文化や欲望のせいで，良心が正しく働かなくなってしまうことがあります。聖書にも，良心が「弱[く]」なるとか，「汚れ」るとか，「焼き印を押された皮膚のようにまひ」することがある，と書かれています。（コリ一 8:12 そのようにして兄弟に対して罪を犯し，兄弟の弱い良心を傷つけるなら，皆さんはキリストに対して罪を犯していることになります。テト 1:15 清い人たちにとっては全てのものが清いのですが，信仰がない汚れた人たちにとっては何も清いものはありません。彼らは**考えも良心も汚れて**います。テモ一 4:2 偽善者たちの語る偽りに惑わされるのです。その**偽善者たちの良心**は，**焼き印を押された皮膚のよう**にまひしています）ちょうど狂ってしまった時計が使い物にはならないように，正しく機能しない良心も当てにはなりません。（ペテ一 3:16 **健全な**(*晴れ晴れとした/**正しく機能**する)**良心を保って**ください。そうすれば，皆さんについて**どんな悪いことを言う人も**，キリストに従う**皆さんの良い振る舞いを見て恥ずかしく思う**でしょう）では，どうすれば良心がきちんと働くようにできるでしょうか。

きちんと働くように良心を鍛えるには

7-8. （ア）良心を鍛えるのに何が役立ちますか。（イ）聖書の原則は，正しい方向に進む上で役立ちます。どういうことか例えで説明してください。（挿絵も参照。）

7 どうすればきちんと働くように良心を鍛えられるでしょうか。聖書を毎日読んで，エホバから見て何が正しくて何が間違っているのかを学ぶようにしましょう。そうやってエホバの考え方をつかめるように努力します。でも，前の記事で学んだ通り，聖書のルールは当てはまる場面が限定されます。それで，ルールの根底にある**原則**をいつも探しましょう。そうすれば，エホバの考え方や気持ちがもっとよく分かってきます。（イザ 55:9 天が地より高いように， 私の行い(*道)はあなたたちの行いより高く， **私の考え**は**あなたたちの考えより高い**。）

8 ある目的地に向かって歩いているところを想像してみてください。整備された道もなければ，標識もない荒地です。太陽や星の位置から大体の方角は分かります。でも，目印が書かれた地図があれば，正しい方向に進めますし，道を外れた時にも気付きやすくなります。聖書は具体的な方向を教えてくれる地図のようです。そして，聖書の**原則**は道の途中にある**目印**のようなものです。毎日の生活の中で目印をたどるかのようにして原則を意識するなら，正しい方向に進んでいくことができ，**エホバに喜んでもらうという目的地**にたどり着けます。



聖書の原則は**道の途中**にある**目印**のよう。自分が正しい方向に進んでいるかが分かる。（8節を参照）

9. ローマ 9 章 1 節からすると，良心を鍛えるためにどんなものも役立ちますか。

9 良心を鍛えるには，聖なる力も欠かせません。（ローマ 9:1 私は**キリストのもの**として**真実を語**っています。偽りを語ってはいません。**私の良心**が**聖なる力に導かれつつ私と共に示して(*証言して)**いる通り，を読む。）**聖なる力に助けてもらえば**，エホバの考えがもっとよく分かるようになり，エホバの望むことをしたいという意欲と力が持てます。（フィリ 2:13 神は**ご自分の望みを実現させるために皆さんを力づけて**くださいます。**行動するための意欲**と**力**の**両方を与えて**くださるのです。）では，どうすればエホバの聖なる力に助けてもらえるでしょうか。

10. 聖なる力をもらうにはどうすればいいですか。（ルカ 11:10，13）

10 ***聖なる力を下さいと祈る。***（ルカ 11:10 誰でも求めている人は受け，探している人は見つけ，たたいている人には開かれます，13 それで，あなたたちが罪深い人間でありながら，子供に良い贈り物を与えることを心得ているのであれば，まして天の父は，ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださるのですを読む。）そんなふうに祈れば，エホバは喜んで聖なる力を与えてくれます。（ヨハ 3:34 神が遣わした者は神が言ったことを話すのであり，神は**聖なる力**を**惜しみながら(*量って)与えたりはしない。**）エホバの考えに沿って行動する人に，エホバは惜しみなく聖なる力をくれます。（格 1:23 私の**戒め**を**受け入れなさい**(*私が戒める時，改心しなさい)。そうすれば，**私の力を注ぎ出し，私の言葉を知らせ**よう。ヤコ 1:5 皆さんの中に知恵の欠けた人がいるなら，その人は神に求め続けてください。神はとがめたり(*あら探しをしたり)せず，**全ての人に惜しみなく与えてくださる**からです。**求め続ければ与えられ**ます。）良心を鍛えるためにほかにもどんなことができるでしょうか。

11. （ア）私たちが人生で一番大切にしていることは何ですか。（イ）良心が鍛えられてきちんと働くことは大切です。どうしてそう言えますか。

11 ***何がエホバに喜ばれるかをいつも考える。***（格 8:34，35 **毎日私の戸口に早く来て(*で目覚めていて)，戸口の柱の脇で待ち，私の言うことを聞く人は幸せだ。** 35 **私を見いだす人**は**命を見いだし，エホバの好意を得る**からである。）私たちが人生で一番大切にしているのは，エホバに喜んでもらうことです。どんな時もそのことを意識していれば，**良心は鍛えられて**いきます。私たちは，どうすべきか聖書にはっきり書かれていないいろんな分野について，判断を下していかなければいけません。例えば，どんな仕事に就くか，どんな教育を受けるか，どんな人と友達になるか，気分転換に何をするかといったことです。良い判断をするには鍛えられた良心がどうしても

必要です。そういう良心があれば，エホバの考え方や感じ方をくみ取って，それに沿った判断ができるからです。では，どうすればそうできるでしょうか。（コリ二 1:12 私たちは次のことを誇りにしており，良心にやましいところなく語れます(*私たちの良心も証言しています)。私たちは世の中で，また**皆さんに接する際にはなおのこと，神聖さと神に倣った誠実さ**を示し，**人間の知恵ではなく神の惜しみない親切**を**表して(*よりどころにして)きました。**）

12. 良心がずれていないか，どうやって確かめられますか。（エフェソス 5:10）

12 ***聖書を読んで深く考える。***（詩 49:3 私は**口で知恵を語り， 心で黙想**して**理解力を示す。**）聖書を読みながら，エホバの考えが伝わってくる原則を探し出すようにしましょう。（エフェソス 5:10 **何をするにしても，主に受け入れられることかどうか**を確かめましょう。を読む。）聖書からエホバの考えがしっかりつかめると，自分の良心のずれに気付く場合もあります。そういう時，自分の考えをエホバの考えに合わせていけば，良心が鍛えられていきます。そして，難しい問題にぶつかった時も良い判断ができるようになっていきます。（格 2:4-9 銀を求めるようにそれを求め続け， **隠された宝を探すように探し続ける**なら， 5 その時，あなたはエホバへの畏れを理解し， **神についての知識を見つける。** 6 **エホバご自身**が**知恵を与えてくださる**からである。 神の口から知識と識別力が出る。 7 神は**正直な人のため**に，**役立つ知恵**を蓄え， 高潔に(*忠誠を尽くして)歩む人のための盾となる。 8 神は**公正の道を見守り， ご自分に尽くす**(*を揺るぎなく支持する/から離れない)**人たちの道を守る。** 9 その時，あなたは**何が正しく公正で公平か**を， **良い歩み**とは**どんなものか**を**理解**する，11-13 **思考力**があなたを**見守り， 識別力**があなたを**保護**する。 12 あなたを**次のものから救い出す**ためである。 **悪い道**から，**堕落した事柄を話す人**から， 13 **真っすぐな道を離れて 闇の道を歩む人たち**から，。ヘブ 5:14 一方，**固い食物**(*よくかんで食べる物)は，**十分に成長した人(*大人)のためのもの**です。そのような人は，**使うことによって識別力**(*知覚力)を**訓練**したので，**正しいことも悪いことも見分けることが**できます。）

13. どんなことをするのは良くありませんか。どんな例がありますか。

13 ***決める時，正しい順番を守る。***とにかくまず決めて，それからその決断に合うような原則を探すというのは良くありません。紀元前 607 年にエルサレムが滅びた後，ユダに残っていたイスラエル人がそうでした。彼らはエレミヤにこう言いました。「私たちが歩むべき道と行うべきことを，あなたの神エホバが教えてくださいますように」。（エレ 42:3-6 私たちが歩むべき道と行うべきことを，あなたの神エホバが教えてくださいますように」。 4 預言者エレミヤは答えた。「分かりました。**皆さんの願い通り，皆さんの神エホバに祈り**ます。そして，エホバの**答えを全て，一言残らず皆さんに伝え**ます」。 5 彼らはエレミヤに言った。「もし私たちが，あなたの神エホバがあなたを通して与えてくださる**指示通りにしないなら**，信頼できる確かな証人であられる**エホバから処罰されますよう**に。 6 私たちは，あなたを私たちの神エホバのもとに遣わし，その言葉が**良くても悪くても従います**。私たちの**神エホバの声に従うなら，物事はうまくいく**でしょう」。）口ではそう言っていましたが，実はもうどうするかを決めていました。エホバからそうしてはいけないと言われた後も，その決定にしがみつき，そのせいで大変な目に遭いました。（エレ 42:19-22 ユダの残りの者である皆さんに対して，エホバは話されました。**エジプトに行って**

はなりません。私が今日皆さんに警告したことをはっきりと知ってください。 20 過ちを犯すなら，命を失うことになります。皆さんはこう言って，皆さんの神エホバのもとに私を遣わしました。『私たちのために，私たちの神エホバに祈ってください。私たちの神エホバが言われることを全て伝えてください。その通りにします』。 21 そして，私は今日皆さんに伝えましたが，皆さんは神エホバの声に従わず，神が私を遣わして伝えさせたことを何も行わないでしょう。 22 それで，次のことをはっきりと知ってください。皆さんは，行って住みたいと願っている場所で，剣と飢餓と疫病によって死ぬことになります」。; 43:1，2 エレミヤは民全てに，彼らの神エホバの言葉を語り終えた。彼らの神エホバから託された言葉を一つ残らず伝えた。すると， 2 ホシャヤの子アザリヤ，カレアハの子ヨハナン，また思い上がった人たちが皆，エレミヤに言った。「あなたはうそを言っています！ 私たちの神エホバが，あなたを遣わして『エジプトに行って住んではならない』と言わせるはずがありません。，4 こうして，**カレアハの子ヨハナン，全ての軍隊長たち，**また**他の全ての人**は，**エホバの声に従わず，ユダにとどまろうとしなかった。**）ここから大切なことを学べます。何かを決める前に，エホバの考えを調べ，それに沿って判断するということです。

14. 聖書の原則に沿った判断をするのが大切なのはどうしてですか。

14 ***聖書の原則に沿って判断する。*** （マタ 7:24-29 それで，**私のこれらの言葉を聞いて実行する人**は皆，**岩の上に家を建てた思慮深い人**のようです。 25 大雨が降って洪水が押し寄せ，風が激しく吹き付けても，その**家は崩れ落ちません**でした。**岩の上に土台が据えられていた**からです。 26 また，私の**これらの言葉を聞いても実行しない人**は皆，**砂の上に家を建てた愚かな人**のようです。 27 大雨が降って洪水が押し寄せ，風が強く吹き付けると，その家は完全に崩れ落ちました」。 28 イエスがこれらの言葉を語り終えると，群衆はその教え方に大変驚いていた。 29 律法学者たちのようにではなく，権威を授かった人のように教えていたからである。ヤコ 1:23-25 **神の言葉を聞いても実践しない人**は，**鏡で自分の顔(*生まれつきの顔)を見る人**に例えることができます。 24 その人は自分を見ますが，そこを離れると，自分がどのような人かをすぐに忘れてしまいます。 25 しかし，**自由をもたらす完全な律法をじっくり見て守る人**は，**聞いてすぐに忘れるのではなく，行動**します。そのような人は**幸せになり**ます。）そうすれば，聖なる力の流れに合わせることができ，エホバから聖なる力をもらい続けることができます。（使徒 5:32 私たちは**これらのこと**の**証人**であり，**聖なる力が助けて**くれます。**神**は**ご自分に従う人に聖なる力を**与えました。）でも逆に，その流れに逆らって自分の好きなように決めてしまうと，聖なる力を「悲しませ」ることになります。（エフェ 4: 30 また，**神の聖なる力**を**悲しませてはなりません**。皆さんは**聖なる力**で**証印を押され，贖いによる解放の日**を**待っている**のです。イザ 63:10 しかし，彼らは**反逆し，神の聖なる力**を**悲しませた**。そのため**神は彼らの敵**となり，**彼らと戦った**。使徒 7:51 **強情**で，**耳をふさぎ，心を変えようとしない人たち**，あなた方は**いつも聖なる力に抵抗**しています。自分たちの父祖と同じように行動しているのです。）そうなると，エホバから聖なる力をもらえなくなってしまいます。（詩 51:11 **あなたの前から**私を**追い払わないで**ください。**聖なる力(*)**を私から**取り去らないで**ください。テサ一 5:19 **聖なる力の働き**を**妨げては**なりません。）聖なる力をどうしても必要としている私たちにとって，本当に悲惨なことです。（エフェ 3:16 私はこう祈ります。

豊かな栄光に輝く父が，聖なる力によって皆さんの内面(*内面の人)を強くしてくださいますように

どうやって聖書の原則を見つけるか

15-16. （ア）聖書の原則をどうやって見つけられますか。（イ）聖書レッスン生がたばこをやめるために，どんな原則が役立ちますか。

15 ***調査ツールを活用する。*** 聖書の原則をどうすれば見つけられるでしょうか。例えば，レッスン生が，たばこがどうしていけないのか納得できていないとします。その人は「聖書にたばこが悪いなんて書かれていないじゃないか。どうして間違っていると言えるんだ」と考えています。そんな時，聖書の原則を見つけてそれに沿って考えられるよう助けてあげることが大切です。「**エホバの証人のためのリサーチガイド**」が役立ちます。「たばこと喫煙」という項目の，「**神は喫煙をどう見ておられるか**」という記事を紹介できます。（「ものみの塔」2014年6月1日号を参照。）その記事には，どんな聖句や原則が載っているでしょうか。

16 この記事では，5つの原則が取り上げられています。（1）**命を危険にさらすようなものに支配されてはいけない**。（ロマ 6:16 皆さんは次のことを知らないのですか。**自分を奴隷として誰かに差し出して従う**なら，**従う相手の奴隷**になります。**罪の奴隷**となって**死へと導かれる**か，**従順の奴隷**となって**正しいことへと導かれる**か，**どちらか**なのです。）（2）**体に悪いものを避ける**。（コリ二 7:1 それで，**愛する皆さん**，私たちにはこのような約束があるのですから，**体**と**精神**の**あらゆる汚れを除き去って自分を清め**，**神への畏れを抱いて神聖さを完成**させていきましょう。）（3）エホバは私たちに**自分の全てを尽くして仕えてほしい**と願っている。（マタ 22:37 イエスは言った。「『あなたは，**心を尽くし**，**知力を尽くし**，**自分の全てを尽くして**，**あなたの神エホバを愛さなければ**ならない』。）（4）**ほかの人の健康に悪影響を与えるようなことはしない**。（マタ 22:39 第二も同様で，こうです。『あなたは**隣人を自分自身のように愛さなければ**ならない』。コリ一 10:24 各自，自分のためになることではなく，**人のためになることをいつも優先**しましょう。）（5）エホバは**正しいことをするための力をくれる**。（フィリ 4:13 **力を与えてくださる方のおかげ**で，私は**強くなり**，**どんなことも乗り越えられます**(*行えます)。）聖書にはたばこについて何も書かれていませんが，こういう原則からエホバがたばこのことをどう思っているかが読み取れます。

17. 結婚式の準備をしているカップルは，どんなふうに役立つ原則を見つけられますか。

17 結婚式の準備を進めているクリスチャンのカップルが参考になる原則を見つけるのにも，「**リサーチガイド**」が役立ちます。「結婚式と披露宴」の項目には，いろんな資料がリストアップされていて，そこから次のような原則を見つけることができます。（1）**エホバがたたえられるような式**にする。（コリ一 10:31，32 それで，食べるにしても，飲むにしても，ほかのどんなことをするにしても，**全てのことを神の栄光のために**しましょう。 32 **ユダヤ人**にとっても，**ギリシャ人**にとっても，**神の会衆にとっても**，**信仰の妨げ(*過ちのもと)にならないよう**にしましょう。）（2）**上品でその場にあった装いをする**。（テモ一 2:9 女性は，**慎みと健全な考え方**(*良い判断)が

表れた，きちんとした(*上品な)服装をすべきです。凝った髪形をしたり，金や真珠や非常に高価な服を身に着けたりするのではなく，。ペテ一 3:3，4 皆さんを飾るのは，凝った髪形や金の装飾品や上等な服といった外面のものであってはなりません。 4 自分の内面(*内面の人つまり心)を飾りとしましょう。物静かで温和な精神という朽ちない飾りです。それは神から見てとても価値があります。） （3）サタンの世界に広く見られる見せびらかす風潮を避ける。 （ヨハ 17:14 私はあなたの言葉を彼らに伝えましたが，世の人々は彼らを憎みました。私が世の人々のようではないのと同じように，彼らも世の人々のようではないからです。ヤコ 1:27 私たちの父である神から見て，清く汚れのない崇拝の型(*宗教)は，困っている孤児ややもめを世話することと，自分を世に汚されないように守ることです。ヨハ一 2:15，16 世も，世の中のものも，愛してはなりません。世を愛する人は，天の父を愛していません。 16 世の中のもの，すなわち罪深い(d*肉体の)欲望，見ることから生じる(d*目の)欲望，持ち物を見せびらかすことは皆，父からのものではなく，世から出るものだからです。） （4）きちんと計画しておく。 （コリ一 14:40 全てのことを適正に，取り決めに沿って行いましょう。） （5）誰も飲み過ぎたり，羽目を外したりしないようにする。 （ガラ 5:21 ねたみ，酩酊，ばか騒ぎなどです。こうした事柄について私はすでに警告しましたが，あらためて警告します。こうした事柄を習慣にする人が神の王国を授けられることはありません。） （6）全体をしっかり見守る人を立てる。 （ヨハ 2:8，9 イエスは言った。「さあ，少しくんで，宴会の幹事の所に持っていきなさい」。彼らは持っていった。 9 宴会の幹事はぶどう酒に変えられた水を味見したが，その出どころを知らなかった。（水をくんできた給仕たちは知っていた。）それで花婿を呼んで，）

18-19.（ア）どんなツールも活用できますか。（イ）何かの行事や祝い事に参加するか決めるとき，聖書のどんな原則が役立つと思いますか。（「原則を見つけられますか」という囲みを参照。）

18 「クリスチャンのための聖句ガイド」というツールもあります。この本にはいろんなトピックがあります。トピックごとに質問と関連する聖句が載っていて，その聖句から聖書の原則を見つけ出すことができます。例えば，特定の行事に参加していいかどうか迷う場合，「祝い事」というトピックの「クリスチャンがしない行事や祝い事」という副見出しを見ると，参考になる聖句を見つけられます。

19 例えば，その副見出しの中に「間違った教えが関わっている祝い事に参加するのが良くないのはどうして？」という質問があり，具体的な行事の例も挙げられています。 （コリ一 10:21 エホバの杯と邪悪な天使の杯の両方から飲むことはできません。「エホバの食卓」と邪悪な天使の食卓の両方で食べることはできません。コリ二 6:14-18 クリスチャンではない人と結び付いてはなりません。それは不釣り合いな関係です。正しいことと不法にいったいどんな関わりがあるでしょうか。光と闇にどんな共通点があるでしょうか。 15 キリストとベリアルの間にどんな調和があるでしょうか。クリスチャンはクリスチャンではない人と何を共有するのでしょうか。 16 神の神殿と偶像にどんな接点があるでしょうか。私たちは，生きている神の神殿です。神が言った通りです。「私は彼らの中に住み，彼らの中を歩く。そして私は彼らの神となり，彼らは私の民となる」。 17 「エホバはこう言います。『それで，彼らの中から出て，離れなさい。汚れたものに触れるのをやめなさい』。『そうすれば私はあなたたちを受け入れよう』」。 18 「『そして私はあ

なたたちの父となり，あなたたちは私の息子や娘となる』と，全能者エホバは言います」。エフェ 5:10，11 何をするにしても，主に受け入れられることかどうかを確かめましょう。 11 何も生み出さない闇の行いに関わるのをやめ，そうした行いを暴いてください。）また，「国家主義的な行事」の副見出しの下には，次のような行事に参加してもいいか判断するのに役立つ聖句が載っています。国家をたたえる行事，戦争に関連した出来事を記念する行事，誰かをたたえる行事です。良心を鍛えるための調査ツールをぜひフル活用したいものです。

原則を見つけられますか

「クリスチャンのための聖句ガイド」を調べると，いろいろなトピックについての聖書の原則が見つかります。家族の崇拝で，以下のようなトピックについてエホバがどう感じているか，探ってみましょう。

- 遊び　クリスチャンもゆっくり時間を過ごしたり遊んだりしていい。
- 飲酒　飲み過ぎたりひどく酔ったりするのが危険なのはどうして？
- うそ　エホバは約束を守ろうとしない人のことをどう思う？
- お金　お金のことばかり考えていてはいけないのはどうして？
- 偶像崇拝　イザ 44:9-20 偶像を崇拝するのがいかに愚かなことか，イザヤを通して教えた。
- 正直　詩 15:1-5 エホバは，自分の友の条件に正直さを挙げている。
- 中立　「政府」を参照
- 仲直り　誰かから嫌なことをされたとき，怒ったり仕返しをしたりしないようにすることが大切なのはどうして？
- ほかの宗教との関わり　どの宗教の人たちも同じ神を崇拝している？
- ポルノ　創 6:1，2，ユダ 6 ある天使たちは人間の女性をみだらな思いで見たので，重大な罪を犯すことになり，エホバとの絆を失った。
- 許す　エホバは本当に許してくれる？
- 良くない行い　クリスチャンはどんな行いに気を付ける？
- 世の中との関わり　今，世界を支配しているのは誰？

きちんと働く良心を持つ

20. 良心が鍛えられていると，どんな判断ができますか。

20 自分で考えて物事を決める能力をエホバが与えてくれたことに私たちは感謝しています。でも，その力を正しく使うには，良心を鍛える必要があります。そういう良心があれば，エホバの願いに沿った，エホバに喜んでもらえる判断ができるからです。良心を鍛えるのに欠かせないのは，エホバの聖なる力です。それでこれからも，聖なる力を下さいと祈り，聖なる力の流れに合わ

せていくようにしましょう。聖書の原則も良心を鍛えるのに役立ちます。そんなふうにエホバがくれたものを活用していけば，聖書の素晴らしさをきっと実感できるはずです。（テモ二 3:16, 17 聖書全体は神の聖なる力(*)の導きによって書かれたもので，教え，戒め，矯正し，正しいことに基づいて指導するのに役立ちます。 17 それにより，神に仕える人は十分な能力を持つことができ，あらゆる良い活動を行う用意が完全に整います。ヘブ 4:12 神の言葉は生きていて，力を及ぼし，どんな両刃の剣よりも鋭く，人の外面(c*ギ語プシュケー)と内面(c*ギ語プネウマ)，骨(d*関節)と骨髄を分けるほど深く刺し通して，心の中にある考えや願いを明らかにすることができます

何を学びましたか

１．良心とは何ですか。

・S05　良心とは**私たちの内面にある善悪の感覚**のことです。エホバが決めたルールを知らない人も、良心を持っている。良心は、自分の考えや行動について非難したり弁護したりして、それが良いか悪いかを教えてくれる。悪いと分かっていることをしようとすると警告し、逆に、良いと分かっていることをするよう後押ししてくれることもある。**きちんと働く良心があって初めて、自分で考えて決める能力をエホバに喜んでもらえるように正しく使う**ことができる。

・S06　私たちの良心も完璧ではなく、生い立ちや文化や欲望のせいで、正しく働かなくなってしまうことがある。

２．どうすれば良心を鍛えられますか。

・S07　**聖書を毎日読んで**、エホバから見て何が正しくて何が間違っているのかを学んでエホバの考え方をつかめるように努力する。

・S09　**聖なる力に助けてもらえば**、エホバの考えがもっとよく分かるようになり、エホバの望むことをしたいという意欲と力が持てる。

・S10ー14　①聖なる力を下さいと祈る。②何がエホバに喜ばれるかをいつも考える。③聖書を読んで深く考える。④決める時、正しい順番を守り、**まず**エホバのお考えを調べる。⑤聖書の原則に沿って判断する。

３．何かの判断をするのに聖書の原則はどう役立ちますか。

・S15　「**エホバの証人のためのリサーチガイド**」、「**クリスチャンのための聖句ガイド**」などの調査ツールを活用する。

・S16　聖書にはたばこについて何も書かれていないが、次の５つの原則からエホバがたばこのことをどう思っているかが読み取れる。⇒①命を危険にさらすようなものに支配されてはいけない。②体に悪いものを避ける。③エホバは私たちに自分の全てを尽くして仕えてほしいと願っている。④ほかの人の健康に悪影響を与えるようなことはしない。⑤エホバは正しいことをするための力をくれる。

・S17　結婚式の準備を進めているなら、「リサーチガイド」の「結婚式と披露宴」の項目から、次のような６つの原則を見つけることができる。⇒①エホバがたたえられるような式にする。②上品でその場にあった装いをする。③サタンの世界に広く見られる見せびらかす風潮を避ける。④きちんと計画しておく。⑤誰も飲み過ぎたり、羽目を外したりしないようにする。⑥全体をしっかり見守る人を立てる。

135 番の歌 エホバの温かな呼び掛け 「わが子よ，賢く」ありなさい